

# 第 18 回日本ポイントオブケア超音波学会学術集会

## プログラム

テーマ： 疾患を肌で感じる超音波検査

会長： 小川 真広(日本大学医学部内科学系消化器肝臓内科学分野)

会期： 2026 年 5 月 30 日(土)～31 日(日)

会場： 東京国際フォーラム(東京都千代田区丸の内 3 丁目 5 番 1 号)

<https://www.t-i-forum.co.jp/access/access/>

同時開催：

日本超音波医学会第 99 回学術集会

[会長]古川 まどか

(愛知医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科／昭和医科大学横浜市北部病院甲状腺センター)

[会期]2026 年 5 月 29 日(金)～31 日(日)

日本乳腺甲状腺超音波医学会第 3 回春季大会

[会長]明石 定子(東京女子医科大学乳腺外科)

[会期]2026 年 5 月 30 日(土)～31 日(日)

ホームページ：<https://lycoris.info/jpocus18/>

運営事務局：

〒112-0005 東京都文京区水道 2-1-1

(株)勁草書房 コミュニケーション事業部 内

電話：03-3814-7112 Fax：03-3814-6904

E-mail：[jpocus18@keiso-comm.com](mailto:jpocus18@keiso-comm.com)

## プログラム

2026年5月30日(土) 第10会場(G602)

8:25-8:30 開会式

8:30-10:00 シンポジウム1

「頸部の痛みをPOCUSで診る」(先生、くびが痛いんです!)

座長: 福原 隆宏(自治医科大学医学部耳鼻咽喉科)

吉田 真夏(聖隷横浜病院耳鼻咽喉科)

**1. 耳鼻咽喉科領域での頸部の痛みをPOCUSで診る**

演者: 福原 隆宏(自治医科大学耳鼻咽喉科)

**2. 運動器の視点でみる頸部の痛み評価と治療**

演者: 宮武 和馬(横浜市立大学整形外科)

**3. 動態評価に基づく頸肩部痛への新たな理学療法戦略**

演者: 渡部 裕之(城東整形外科理学療法課)

**4. 頸部の痛みをPOCUSで診る～ペインクリニックの視点から～**

演者: 千葉 聡子(順天堂大学医学部麻酔科学ペインクリニック講座)

**5. プライマリ・ケアで輝く頸部POCUSと身体所見で診断の壁を突き破る。**

演者: 植村 和平(島根大学総合診療医センター)

10:10-11:40 シンポジウム2

「AI時代の運動器診療」

座長: 白石 吉彦

(隠岐広域連合立隠岐島前病院/島根大学医学部附属病院総合診療医センター)

中本 達夫(関西医科大学附属病院 麻酔科・痛みセンター)

**1. 主訴から迫る超音波診療の最前線**

演者: 宮武 和馬(横浜市立大学運動器病態学教室)

**2. AI時代の運動器診療における超音波ガイド下注射の最前線**

演者: 笹原 潤(帝京大学スポーツ医科学センター)

**3. AIは運動器エコー診療を変えるのか?**

演者: 面谷 透(東京先進整形外科整形外科)

**4. AI時代の超音波ガイド下理学療法—神経滑走の先にある笑顔を目指して—**

演者: 渡部 裕之(城東整形外科理学療法課)

**5. AI時代に求められる超音波ガイド下リハビリテーション(体幹・下肢)**

演者: 生田 太(東京国際大学医療健康学部)

**13:10-13:40 特別講演 1**

「日本ポイントオブケア超音波学会のこれから」

座長： 谷口 信行

(社会福祉法人恩賜財団 済生会支部栃木県済生会宇都宮病院 超音波センター)

演者： 亀田 徹

(日本ポイントオブケア超音波学会代表理事／亀田 徹済生会宇都宮病院超音波診断科)

**13:45-14:45 会長講演**

「超音波を活かす！」

座長： 山田 博胤(徳島大学大学院医歯薬学研究部 地域循環器内科学)

演者： 小川 眞広(日本大学医学部内科学系消化器肝臓内科学分野)

**14:50-16:20 パネルディスカッション 2**

「AI時代のプレゼンテーション～私の工夫～」

座長： 小淵 岳恒(福井大学医学部附属病院救急部・総合診療部)

中瀬 順介(金沢大学整形外科)

**1. 我々はAIをプレゼンに活用しきれていない**

演者： 面谷 透(東京先進整形外科整形外科)

**2. AI時代におけるプレゼンのインパクトの与え方**

演者： 宮武 和馬(横浜市立大学運動器病態学教室)

**3. AI時代のプレゼンテーション～文字と絵における私の工夫～**

演者： 笹原 潤(帝京大学スポーツ医科学センター)

**4. プレゼンは“体験”に変えられるか：音楽で再設計するAI時代の情報伝達**

演者： 片山 裕貴(横浜市立大学附属病院)

**5. 語らず魅せる ～ AIが導く感動プレゼン～**

演者： 皆川 洋至(医療法人城東整形外科)

## 2026年5月30日(土) 第11会場(G610)

### 8:30-10:00 パネルディスカッション1

「おしえて先生！ あなたは普段どのように腹部POCUSを行っていますか？」

～救急・小児救急・総合診療・総合病院・大学病院・在宅・クリニックなど～現場に生きるPOCUS手法の実際～

座長： 畠 二郎(川崎医科大学 総合臨床医学)

豊田 英樹(ハッピー胃腸クリニック)

#### 1. 腸を見て、判断する -在宅における排便アセスメントとしての腹部POCUS-

演者： 神野 真紀(ケアゲート株式会社 あげぼの訪問看護ステーション)

#### 2. 在宅医療における腹部POCUS手法の実際

演者： 水間 美宏(特定医療法人神戸健康共和会 東神戸病院内科・訪問診療)

#### 3. 小児救急でこんな腹部POCUSやっています

演者： 竹井 寛和(兵庫県立こども病院救急科)

#### 4. これだけでできれば大丈夫！腹部救急POCUS<虎の巻>

演者： 瀬良 誠(福井県立病院救命救急センター)

#### 5. 病院で超音波専門医が施行するPOCUS

演者： 畠 二郎(川崎医科大学総合臨床医学)

### 10:30-12:00 特別企画

「腹部症状に対するアプローチ貴方はPOCUS？それともCT？」

座長： 渡邊 幸信(日本大学医学部内科学系消化器肝臓内科学分野)

太田 智行(町田市民病院 放射線科)

#### 基調講演 腹部症状 POCUS か CT か 超音波専門医と放射線診断専門医・二刀流の立場から

演者： 金田 智(東京都済生会中央病院 放射線科)

#### 1. 腹部症状診療;まずは救急初療室でのpocusである

演者： 飯田 浩行(筑波学園病院 外科)

#### 2. 開業医のジレンマを解く:POCUSとCTの共存戦略-クリニック18年の経験から。

演者： 豊田 英樹(ハッピー胃腸クリニック)

#### 3. 急性腹症に対する適切なアプローチの検討

演者： 渡邊 幸信(日本大学医学部内科学系消化器肝臓内科学分野)

#### 4. 学童期急性腹症におけるPOCUSの役割を再考する:診断から病態把握、そして意思決定へ

演者： 本間 利生(日本赤十字社医療センター)

**14:50-15:20 特別講演 2**

「Current Status of POCUS in Korea」

座長：方波見 謙一(北海道大学救急科)

**Current Status of POCUS in Korea**

演者：Won Jun Jeong (Chungnam National University Hospital, Daejeon, Republic of Korea)

**15:30-16:30 シンポジウム 3**

「気道呼吸超音波アップデート」

座長：野村 岳志(医療法人徳洲会)

谷口 隼人(横浜市立大学附属市民総合医療センター高度救命救急センター)

**1. 肺 POCUS 教育の課題と展望**

演者：菊池 優志(横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター)

**2. 肺エコーにおける AI 技術**

演者：内田 武吉

(国立研究開発法人 産業技術総合研究所 工学計測標準研究部門 音響・超音波・振動標準研究グループ)

**3. 肺エコーは臨床でこう使う～小児麻酔・集中治療領域での肺エコーアップデート～**

演者：森 英明(島根大学医学部附属病院麻酔科)

## 2026年5月30日(土) ハンズオンセミナー会場1(G402)

### 8:30-11:30 ハンズオンセミナー1

「美しい周術期管理～ナース・エコーの臨床応用～」

座長: 鈴木 昭広(自治医科大学附属病院 麻酔科・周術期センター)

浦田 克美(松園会 東葛クリニック病院)

テクニカル・アドバイザー:

皆川 洋至(医療法人城東整形外科)

松崎 正史(ソニックジャパンホールディングス株式会社)

#### 1. 超音波ガイド下静脈穿刺

講師: 比嘉 花南美(城東整形看護部)

#### 2. 美しい術中体位と体位変換(移動)

講師: 青山 祥(城東整形看護部)

#### 3. 美しい抜管～覚醒の確認とリスク因子～

講師: 佐々木 翔(医療法人城東整形外科)

#### 4. 術後リスクを可視化! エコーを用いたむくみ評価

講師: 渡部 裕之(城東整形外科)

#### 5. 術後便秘

講師: 中嶋 徳樹(城東整形外科看護部)

### 13:10-16:10 ハンズオンセミナー2

「心不全 POCUS ハンズオン」

講師・インストラクター:

大原 貴裕(東北医科薬科大学 老年・地域医療学/総合診療科)

泉 学(済生会宇都宮病院 総合内科)

中村 和人(山梨大学医学部附属病院 総合診療部 循環器内科)

和田 靖明(名古屋市立大学医学部附属東部医療センター)

宮原 大輔(聖マリアンナ医科大学循環器内科)

## 2026年5月30日(土) ハンズオンセミナー会場3(G510)

### 13:10-16:10 ハンズオンセミナー3

「ER で使える神経ブロック×POCUS」

# 第4回 Student POCUS League

## — 医学生による POCUS 全国対抗戦 —

運営・企画・進行: 日本ポイントオブケア超音波学会 学生教育推進委員会、学生・研修医支部 (PSMA)

協力: GE ヘルスケア・ジャパン株式会社、コニカミノルタジャパン株式会社、富士フイルムメディカル株式会社

参加大学 (23 大学・あいうえお順):

愛媛大学、岩手医科大学、香川大学、金沢大学、北里大学、熊本大学、自治医科大学、島根大学、信州大学、東邦大学、東京医科大学、東京女子医科大学、東京大学、東北医科薬科大学、徳島大学、日本大学、兵庫医科大学、浜松医科大学、北海道大学、三重大学、横浜市立大学、琉球大学、和歌山県立医科大学

---

### < 企画の言葉 >

”ライバルの存在は学びの近道だ”

2023 年に始まった Student POCUS League は、医学生が Point-of-Care Ultrasonography (POCUS) を学び、競い、成長する日本初の全国大会である。回を重ねるごとに参加大学は増加し、第 4 回大会では 23 大学が参加する規模へと発展した。

本企画は一貫して、競争を通じた学習を軸としてきた。ライバルの存在が学習の質と量を高め、技術の習得を加速させる。その環境の中で、医学生は主体的に POCUS と向き合い、互いに高め合っていく。

第 4 回大会では、この学びをさらに一歩進め、「POCUS をどのように臨床で活かすか」という視点を強化した。単なる描出技術の習得にとどまらず、診断・判断へとつなげる力を競うことで、より実践的な学習機会を提供する。

ここに集う医学生たちが、次世代の POCUS を担う存在となることを期待する。

---

## ＜プログラム概要＞

本大会は予選・準決勝・決勝の3ラウンドで構成される。

---

### ■予選(全23大学)9:00-12:00

技術ブース2つ、知識ブース2つの計4ブースをローテーション形式で実施する。

- 技術ブース①:”絵合わせ” 4階 G409  
提示されたエコー画像と同一断面の描出を行い、正確性とスピードを競う。
- 技術ブース②:”心得” 4階 G407  
心臓エコー(FoCUS)の基本断面を迅速に描出する。
- 知識ブース①・②:4階 G408、G405(①②の部屋番号を入れ替え)  
POCUSに関する基礎および臨床知識を4択形式で評価する。

各ブロックの上位チームより計4大学が準決勝へ進出する。

---

### ■準決勝(4大学)13:45-15:15 4階 G405、G407、G408、G409

“メディカルラリー形式”を導入し、臨床現場(\*)を模した4つのシナリオブースで競技を行う。

\* 想定される臨床環境:

病棟、外来、救急、病前救護(ドクターヘリ)、在宅、災害 など

評価項目:

診療態度・コミュニケーション、問診・身体診察、POCUSの適切な活用、診断・判断・治療方針 など

様々な環境の医療現場を想定し、「POCUSを使った診療力」を総合的に評価する。

---

### ■決勝(2大学)15:50-16:35 B2階ホールE

“POCUS診断バトル”として臨床シナリオ形式で実施する。

- 与えられた臨床ケースをもとに、指示されたPOCUSを正確かつ迅速に実施する。
- POCUSの合計タイムにより回答順が決定され、得られた所見をもとに診断を行う。

評価項目:

描出の正確性・迅速性、所見の解釈、臨床推論能力など

POCUSの技術に加え、診断へと結びつける臨床推論能力を評価する。

---

### ■その他企画

- 写真撮影(16:45~17:00 4階 G409)
- フリーハンズオンセミナー(17:00-17:30 4階 G405、G407、G408、G409)
- 表彰式(ファイヤーサイドトーク内 7階ホール B7)

※赤字箇所は追加・変更となった点です。ご注意ください。

## 2026年5月31日(日) 第10会場(G602)

### 8:30-9:20 一般口演①

座長: 松本 直樹(日本大学医学部内科学系消化器肝臓内科学分野)

野村 岳志(医療法人徳洲会)

#### 1. 超音波診断装置用ファントムに用いる新しい生体組織近似材料の音響物性

演者: 上田 佳太朗(徳島文理大学理工学部ナノ物質工学科)

#### 2. POCUSによる脂肪肝スクリーニングの有用性

演者: 杉原 誉明(鳥取大学医学部附属病院消化器内科/鳥取大学医学部保健学科病態検査学講座)

#### 3. 経腎裂アプローチ直腸エコーにおける便貯留評価: 深層学習を用いた検出精度の検討

演者: 佐野 由美(医療法人財団松圓会東葛クリニック病院診療管理部)

#### 4. Beam width artifactにより仮性動脈瘤と誤認した穿刺部リンパ漏の一例

演者: 市川 宏紀(大垣市民病院診療検査科)

#### 5. ソノグラファーが高齢者介護施設で指導を行ってみて

演者: 寺内 裕樹(医療法人社団七福会ホリィマームクリニックさいたま)

### 9:25-10:05 一般口演②

座長: 渡邊 至(湘南鎌倉総合病院 外傷センター麻酔科)

上條 泰(信州大学医学部附属病院 救急集中治療医学教室)

#### 1. エコーを用いた眼振評価の検討

演者: 棟方 裕貴(砂川市立病院救急科)

#### 2. 当院でのUS専従技師の休日・夜勤超音波検査導入に対する現状と課題

演者: 大畑 友樹(学校法人聖マリアンナ医科大学病院超音波診療技術部)

#### 3. POCUSでStanford A型大動脈解離と診断できた細菌性肺炎の1例

演者: 藤原 美佳(高松市立みんなの病院循環器内科)

**10:10-11:40 小児 POCUS 初心者向け(研修医・学生・技師)講義**

「小児エコー入門:はじめてでもわかる基礎講座」

座長: 本間 利生(日本赤十字社医療センター)

森谷 優人(浜松医科大学)

**1. 新生児・乳児における基本の脳エコー**

演者: 中張 惇子(自治医科大学附属さいたま医療センター周産期科新生児部門)

**2. POCUS で理解する VSD・ASD :構造と血行動態を結びつける基礎講座**

演者: 石川 和(国立成育医療研究センター小児循環器科)

**3. 小児救急における腹部 POCUS の考え方:虫垂炎と腸閉塞を中心に**

演者: 富田 慶一(国立成育医療研究センター救急診療部)

**4. これから出会う小児臨床超音波物語:急性陰囊症 ~精巣と向き合う~**

演者: 小野 友輔(北九州市立八幡病院小児臨床超音波センター)

**5. 頸部超音波の使い方の一例**

演者: 弘野 浩司(茨城県立こども病院小児科)

**6. 成人と同じ!小児における肺エコーの基本**

演者: 吉田 美苗(兵庫県立こども病院総合診療科)

**7. 腸重積診療における POCUS の使いどころと使いかた**

演者: 本間 利生(日本赤十字社医療センター小児科)

## 2026年5月31日(日) 第11会場(G610)

### 8:30-10:00 シンポジウム4

「心不全におけるPOCUSの活用法」

座長: 山田 博胤(徳島大学大学院医歯薬学研究部 地域循環器内科学)

和田 靖明(名古屋市立大学医学部附属東部医療センター)

#### 1. 呼吸不全の初期対応における心不全の鑑別

演者: 方波見 謙一(北海道大学病院救急科)

#### 2. 心不全の病態と心エコー図所見のポイント

演者: 大原 貴裕(東北医科薬科大学 老年・地域医療学/総合診療科)

#### 3. 循環器専門クリニックでの外来、在宅のPOCUS活用法

演者: 三原 裕嗣(四日市内科ハートクリニック 循環器内科)

#### 4. 心臓血管外科病棟における看護師POCUSの活用と心不全管理への応用

演者: 柳谷 和明(青森県立中央病院心臓血管外科)

#### 5. ソノグラファーの立場から考える心不全の心エコー図検査:救急から臨床をつなぐ視点

演者: 野村 和弘(埼玉医科大学病院中央検査部)

### 10:10-11:40 奨学ポケットエコーアイデアコンペ共催

「～目指せ!ポケットエコーマスター～」

#### 1. 解剖×エコーで脱、とにかく当てるPOCUS

演者: 田島 望美(亀田総合病院)

#### 2. 「動く心臓」で学ぶBLS — ポケットエコーを用いた体感型教育モデルの提案

演者: 柴崎 瞳(愛媛大学)

#### 3. 「エコー教育に地図を」—学習ガイドライン構築の試み—

演者: 市川 優佳(浜松医科大学)

#### 4. GAIN Growth Assessment by Imaging & Noninvasive monitoring

— 筋肥大の“質”を可視化する縦断ドキュメント —

演者: 藤森 香帆(東京大学医学部医学科・鉄門灯誓会)

#### 5. 聴診+POCUSへ:研修医が携行するポケットエコーは診療を変えるか?

演者: 渡辺 莉代(聖隷浜松病院総合診療科)

#### 6. K-PICSによる和歌山発!大学連携遠隔双方向型POCUS教育の展開

演者: 秋元 一輝(和歌山県立医科大学医学部)

#### 7. 臨床・教育・研究を繋ぐ:ミッション達成型学生消化器POCUS活用の提案

演者: 浅野 るりか(岩手医科大学医学部)

#### 8. 訪問看護におけるポケットエコーを用いた胃瘻カテーテル交換後の胃内留置確認の有用性

演者: 内田 三恵(こもれび在宅診療所)

#### 9. ポケットエコーで拓く!超音波検査学習の新たな可能性

演者: 太田 悠斗(自治医科大学医学部医学科)

#### 10. 維持透析患者におけるポケットエコーを用いたVMTスコアの検討

演者: 神谷 茂之(札幌医科大学附属病院初期研修医)

## 2026年5月31日(日) ハンズオンセミナー会場1(G402)

### 8:30-11:30 ハンズオンセミナー4

「初心者のための腹部POCUSハンズオンセミナー」

進行・座長：豊田 英樹(ハッピー胃腸クリニック)

#### 【第1部】 講義・ライブデモンストレーション

講師：長沼 裕子(市立横手病院消化器科)

畠 二郎(川崎医科大学総合臨床医学)

#### 【第2部】 ハンズオン講習

インストラクター：

杉本 博行(小牧市民病院 外科)

今村 祐志(聖霊病院)

長沼 裕子(市立横手病院消化器科)

安本 浩二(地方独立行政法人 三重県立総合医療センター)

畠 二郎(川崎医科大学総合臨床医学)

### 13:10-14:40 ハンズオンセミナー5

「小児ハンズオン」

インストラクター：

福原 信一(医療福祉センターさくら)

竹井 寛和(兵庫県立こども病院 救急科)

富田 慶一(国立成育医療研究センター)

野中 航仁(さいたま赤十字病院 小児科)

本間 利生(日本赤十字社医療センター)

木下 正和(東京都立小児総合医療センター 救命救急科)

## 2026年5月31日(日) ハンズオンセミナー会場2(G409)

### 8:30-11:30 ライブデモンストレーション

「看護エコーのこれからを語る 明日から使える必須の手技を学ぼう」

座長: 太田 智行(国際医療福祉大学病院放射線医学)

白石 吉彦(隠岐島前病院/島根大学医学部付属病院総合診療医センター)

#### 1. 「看護エコーのこれまでとこれから」

デモンストレーション内容: 褥瘡超音波

講師: 松本 勝(石川県立看護大学大学院看護学研究科 共同研究講座ウェルビーイング看護学)

#### 2. 「認知症患者の不調を可視化するナースエコーの可能性 ～膀胱エコー・IVCの描出～」

デモンストレーション内容: 膀胱超音波と体液管理

講師: 奥村 歳子(山梨市立牧丘病院)

#### 3. 「当てる!見える!変わる!離島の小さな病院でのチャレンジ～血管穿刺をしてみよう～」

デモンストレーション内容: 血管穿刺超音波

講師: 高橋 ルミコ(隠岐島前病院)

#### 4. 「クリティカルケアで活かす POCUS～見える安心と深化するフィジカルアセスメント:肺・胃エコー～」

デモンストレーション内容: 胃と肺エコー

講師: 辻本 真由美(横浜市立大学附属市民総合医療センター)

#### 5. 「便秘管理の意思決定を変える POCUS ～経腹・経腎裂エコーによる実践的アセスメント」

デモンストレーション内容: 便秘超音波 経腹、経腎裂

講師: 佐野 由美(医療法人財団松圓会 東葛クリニック病院)

### 12:10-15:10 ハンズオンセミナー6

「誰も教えてくれない救急超音波」

講師: 上條 泰(信州大学医学部附属病院高度救命救急センター)

小淵 岳恒(福井大学医学部附属病院救急部・総合診療部・高度被ばく医療支援センター)

階戸 尊(杉田玄白記念公立小浜病院 救急総合診療科)

瀬良 誠(福井県立病院 救命救急センター)